

平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	未来を拓く人と心を育むまちづくり	分野(章)番号	2
政策名(項)	地域の歴史・文化の継承と活用	政策(項)番号	Ⅲ
施策名(目)	史跡の保存と地域文化の継承	施策(目)番号	①
担当課	教育委員会生涯学習課(関係課 農林課)	担当課長	窪田 高広

1. 施策の基本方針

施策目的	・地域の歴史・文化の継承と活用を行うため、貴重な地域資源や文化財の発掘保存に努めるとともに、伝統文化の継承と後継者育成を目指す。
------	--

2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)	施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)							
	<ul style="list-style-type: none"> ・民間で保有する貴重な歴史資産の保護、伝承に公的な支援をしてほしい。 ・地域資源、文化財にふれる機会を作ってほしい。 ・伝統芸能等の発表の場がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財制度よりも緩やかな「登録有形文化財」制度が平成8年にでき、多くの登録がされている。丸森町においても、旧丸森郵便局と齋理屋敷が登録されている。 ・文化財の修復をできる人材が減っている。 							

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							備考(他団体状況含む)
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標		
主要	郷土芸能公開回数	目標			30回	30回	30回		郷土芸能等継承活動
		実績	25回	26回	35回			30回	
		達成率			117%				
参考①	ふるさと館の来館者数	目標			1,500人	1,500人	1,500人		資料館運営管理
		実績	1,241人	1,431人	843人			1,500人	
		達成率			56%				
参考②	文化財研修参加者数	目標			100人	100人	100人		文化財研修事業
		実績	76人	65人	84人			100人	
		達成率			84%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		11,473千円	5,345千円	9,786千円	8,730千円	7,433千円	7,433千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	千円	千円	千円	千円	千円	千円
一般財源		11,473千円	5,345千円	9,786千円	8,730千円	7,528千円	7,528千円
従事者数	正職員	0.87人/年	0.82人/年	0.81人/年	0.99人/年	0.66人/年	0.66人/年
	臨時職員	0.92人/年	1.21人/年	1.02人/年	1.01人/年	1.02人/年	1.02人/年
人件費	正職員	5,857千円	5,592千円	5,501千円	6,723千円	4,481千円	4,481千円
	臨時職員	1,447千円	2,439千円	2,439千円	2,423千円	2,406千円	2,406千円
退職給与引当金		755千円	769千円	739千円	903千円	601千円	601千円
トータルコスト		19,532千円	14,145千円	18,465千円	18,779千円	14,921千円	14,921千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]	・郷土芸能公開回数が目標に達するようになり、達成度は高い。	
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]	・郷土芸能公開回数の増加により、伝統文化の継承と後継者育成につながり、成果の向上が期待できる。	
	貢献度	b	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]	・これらの事業が展開されることにより、貴重な町の文化資産の保存伝承が行われ、貢献度は高い。		

5. 施策の課題

課題	・郷土芸能の担い手の高齢化が進んでいることから、発表する環境を整備するなどして後継者の育成を図る必要がある。また、文化財集や研修会を通して情報を発信し、町民の理解を図る必要がある。
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・事業内容の充実を図り、引き続き文化資産の継承と保存に努める。
------	------------------------	---------	---------------------------------

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。